

みみつ中央通信

式辞

新型コロナウイルスの影響をうけ、式の内容を変更することになりましたが、ここに、PTA会長、黒木秀明様をはじめ、たくさんのご家族の皆様に参加いただき、第74回入学式を挙げていきますことに感謝し、心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。校庭には、桜や美しい花が満ちあふれ、春の薫りとともに美々津中学校に入学する皆さんを歓迎しているかのようにです。

新入生の皆さん、美々津中学校への御入学、おめでとうございます。私たちは、皆さんの入学をとっても心待ちにしています。皆さんの後ろには、一・三年生の先輩達たちも皆さんの入学を祝い、参加しています。美々津中学校の生徒は、どこに出しても自信をもって誇れる素晴らしい生徒ばかりです。これから、素敵な先輩達と力を合わせて伝統を守り、日向市のみならず、宮崎県に誇れる美々津中学校を築いてください。

さて、新入生の皆さんは、それぞれが中学校生活にあこがれや希望を持つと共に目標を持って入学されたことだと思えます。目標とは、何を指すかです。皆さんが学校生活を楽しく幸せに過ごすためには、自分の学校生活を感動させる物語として、3年かけて描きあげる作家になることです。どうしたら感動する物語がかけるのか。その魔法を三つお話しします。一つ目は、「プラス思考」です。これから、皆さんには、良いことや楽しいことばかりではなく、嫌なことや困ったこと悩んだりすることが必ず起こります。これを、避けて通ることが絶対できません。目の前で起こる全ての出来事は、自分にとって必ず意味がある。そして、自分に何かを教えてくれると思うようになれば、全ての出来事が大切な宝物になっていきます。

だから、絶対に乗り越えられないことはないのです。乗り越えられない人には、試験は与えられません。だから「プラス思考」で考えることができるようになることなのです。思いがぶれない限り、目の前の壁は必ず扉に変わります。

二つ目は、「勉強好き」になることです。よく何のために勉強するのかということに耳にします。たぶん、勉強は自分のためにすると思っている人が多いと思います。しかし、何かのきっかけで、勉強は自分のためだけにするものでは無いことに気が付きます。そしてそこに気が付くと、勉強好きになるスイッチが



校長 鈴木利明

入学式 式辞

ようこそ 美々津中学校へ

間違いない入りです。そのためには、まず、目の前にある課題を全力で取り組むことです。勉強の仕方が分からないとか何で勉強するんだろうと言っていないで、自分が思ったように学ぶことです。学ぶとは、真似をするところから来た言葉です。後ろに座っている先輩の真似をしたり経験や体験を体で感じたりすることで、勉強好きのスイッチが必ず入ります。

三つ目は、読書家になる事です。読書が習慣化すると、「プラス思考」も「勉強好き」も自然に身に付きます。そして、沢山の引き出し、つまり知識を得ること、自分の宝物が増えていきます。この宝物が、自分の人生を大きく左右することになります。昨年度も、美々津中学校には全国

から本のプレゼントが届きました。信じられないかも知れませんが、全国の伊達直人と名乗る大人の方から本が美々津中学校の生徒のために贈られて来ました。西野亮廣(にしのおきひろ)さんの書いた「新世界」という本は、本好きの三年生全員にプレゼントされました。今、後ろにいる先輩もたくさん本を読んでいます。四年前にこの学校に着任したときには、一年間で全校生徒が図書室から借りて読んだ冊数は490冊だったのが、昨年は一年間で、約3155冊が貸し出されました。一人にすると年間42冊、月に直すと約3冊から4冊の本を読んでいることになりました。先輩のカバンの中には、いつでも読めるように本が入っています。少しの空いた時間や毎日決めた時間を使って本を読みましよう。忙しい人ほど本を読むものです。世の中の成功者と言われる人は必ず読書家です。

この三つの「プラス思考で考える」「勉強好きになる」「読書家になる」ことを常に心において、活を送ってください。一つ一つゆつくりでいいです。慌てず焦らず自分のペースで歩いていきましょう。小さな一歩でも前に進むのです。そして、三年後、自分の物語をハッピーエンドで完成させてください。ご家族の皆様にご挨拶申し上げます。改めまして、御入学おめでとうございます。皆様にとってかけがえのないお子様であり、また美々津中学校にとっても、かけがえのない生徒の皆さんをお預かりいたしました。思春期を迎える子ども達にとって、中学校での生活は、将来、立派で大切な人財となるための基礎を築く貴重な時期となります。子ども達が、胸を張って社会貢献できるよう、私たちは全職員力を集結し、チーム美々津として生徒一人一人の力を確実に伸ばしていくことを約束いたします。どうぞ、これからも美々津中学校の教育に対して、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

第74回 入学式 ～入学おめでとう～



桜や美しい花が満ちあふれる中、新入生21人を迎え、入学式が行われました。真新しく少し大きめの制服は、これからの成長を期待させているようでした。

「誓いの言葉」

令和2年4月9日

暖かな春の訪れとともに私たち21名は、伝統ある美々津中学校に入学しました。(中省略)

中学校の3年間はあっという間に過ぎていくと思います。だから、一日一日を悔いのないよう大切に過ごしていきたいです。

中学校は小学校と違い各教科で先生が変わります。分からないところは率先して、先生に聞きに行き、分からないままにしないようにし、そして、3年後の高校受験で志望校に入れるようにしっかり勉強していきたいです。

中学校では勉強はもちろん、それに加え部活動もあります。部活と勉強を両立しながら、充実した中学校生活を送りたいです。そして、この美々津中学校の生徒として、恥じないよう、自分の行動に責任が持てる人になりたいです。

最後にお世話になる先生方、来賓の方、そして、2年生3年生の先輩方、これから御指導よろしくお祈いします。



「誓いの言葉」を述べる黒木茉季さん

対面式・部活動紹介 ～よろしくお祈いします～

今年も、生徒会主催による対面式が行われました。生徒会が中心となり、生徒会の組織について、その仕事の内容、部活動紹介等です。各専門部も部活動も工夫をこらしながら元気いっぱいでした。



避難訓練



命を守るための避難訓練を実施しました。自分の身は自分で守る。いつでも避難できる心構えをしておく。防災士の黒木邦寛さんから、話を聴くことができました。災害は、忘れた頃ではなく、いつでもやってきます。

登下校指導



毎日の登下校、危険な所があります。どんなに生徒が交通ルールを守っていても、事故に遭遇することも考えられます。「車は急に止まれない」と言うことも常に考えながら登下校しましょう。